

箱根駅伝予選会エントリー

10月23日（土）に陸上自衛隊立川駐屯地の周回コースで実施される箱根駅伝予選会のエントリーメンバー14名が確定しました。当日は、各チームともエントリー14名のうち12名が出走し、上位10名の合計タイムで10位までが本選出場となります。

前号のニュースレターでもご報告の通り、箱根駅伝プロジェクトの強化1期生達が最終学年を迎えた今年は、充実した戦力が整った上に、この夏はこれまでに例の無いような充実した走り込みをこなして、選手達はまた一回り成長をみせてくれました。

昨年と同様に、今大会も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための様々な対策が講じられた上で、**無観客での開催**となりますが、悲願の予選会突破に向けてチーム一丸となって戦う選手達の熱い走りを、テレビやSNSなどから見守って頂けましたら幸甚です。

箱根駅伝予選会エントリーメンバー

	出身高校	5000m ベスト	10000m ベスト	ハーフマラソン ベスト	目標
司代 隼	政4 希望ヶ丘	14'27"38	29'17"23	63'27	本戦復活
清水 拓哉	法4 逗子開成	14'07"21	29'37"95	64'11	箱根路を走る
杉浦 慧	政4 成蹊	14'24"05	29'07"93	62'53	箱根駅伝出場
鈴木 輝	理4 浦和	14'45"62	30'00"63	66'05	4年間の集大成・予選会突破！
内藤 拓海	商4 大東文化一	14'26"85	30'03"84	65'24	本戦出場
前田 拓海	法4 新潟	14'48"58	30'03"02	66'12	2桁順位 63'30
貝川 裕亮	環3 美濃加茂	14'50"39	29'54"99	64'36	100%の力を出し切り、箱根路へ！
前原 裕磨	政3 熊谷	14'16"38	29'48"02	63'49	予選会突破！ この1年の全てをぶつける走りをします！
森田 剛史	経3 慶應湘南藤沢	14'12"52	29'33"53	64'04	箱根駅伝本戦出場
黒澤 瑛紀	総2 新島学園	14'17"31	29'44"24	-	自分史上最高の走りをする。死力を尽くし、1秒を削り出す。
安倍 立矩	理1 厚木	14'23"04	29'47"05	-	箱根駅伝本戦出場に貢献します！
木村 有希	総1 葵	15'08"63	29'48"01	-	62分台！
田島 公太郎	環1 九州学院	14'27"73	29'47"06	-	とうとうこの時がやって参りました。初の予選会だからこそできるフレッシュな走りで慶應を必ずや本戦へと導きます。九州男児のド根性に乞うご期待！！
鳥塚 健太	理1 市立金沢	14'38"62	30'58"74	-	64分台 チーム10番以内

慶應箱根駅伝ラッフル 2021-2022 寄付募集中

慶應義塾体育会競走部は、2017年4月より慶應箱根駅伝プロジェクトを始動し、その強化に取り組んでおります。プロジェクト初年度から関東学生連合に根岸祐太が選出され、2018年1月の本選において復路8区を疾走しました。翌2019年度は司代隼（政4・希望ヶ丘）が関東学生連合のメンバーに選出されましたが、残念ながら補欠に回りました。そして昨年度は杉浦慧（政4・成蹊）が関東学生連合の主将として5区の山登りに挑みました。

杉浦と司代は、慶應箱根プロジェクトの開始を知って、「慶應で箱根を目指す」という明確な意思を持って入学してきた、いわばプロジェクト1期生です。そして、このプロジェクト1期生達が最終学年を迎えた今年度は、いよいよ本選出場を射程距離に捉えています。4年前に根岸が箱根を走った際には、『根岸が10人いれば、チームとして箱根に出られる』と考えていました。記録だけで単純比較をすれば、現在のチームには根岸よりもハーフマラソンの自己ベストが速い選手が、既に10人育っています。

スポーツ推薦制度がなく、高校時代は無名だった選手ばかりのチームが、たった数年の間にここまで力をつけることができたのは、ひとえに保科、小野両コーチの指導力と、学生達の熱意や創意工夫の賜物です。慶應の育成力は、いまや学生成長距離界において注目を集める存在となっています。

そして、この育成現場を支えるのに不可欠なのが、安定的な強化資金です。慶應箱根駅伝プロジェクトでは、強化資金の確保を目的として、2018年度よりラッフル(※)による寄付金を募集しており、これまでの3年間で総額502万円のご支援を頂きました。無償で景品をご提供頂いた多くの企業・団体・個人の皆様と、ラッフルを通じてご寄付を頂いた方々に、心より御礼申し上げます。

今年度も、2022年分の強化資金として、慶應箱根駅伝ラッフル2021-2022の寄付受付を開始しました。本プロジェクトの趣旨にご賛同頂ける皆様におかれましては、今年度も引き続き、ラッフルへのご協力をよろしくお願いいたします。

※ ラッフルは「慈善福引」と訳され、欧米では寄付金を募る効果的な手法として、広く活用されています。寄付者へラッフルチケット（福引券）を交付し、慶應箱根駅伝プロジェクトを応援して下さる企業・団体などから無償でご提供頂いた様々な景品の抽選を行い、当選した寄付者へ景品を送付させていただきます。

1. ラッフルチケット購入によるご寄付

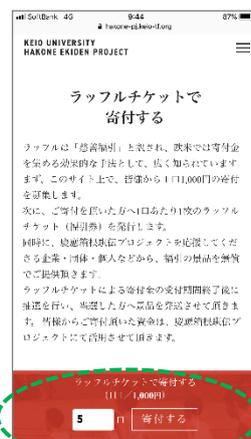
スマートフォンやPC上の簡単な操作で、慶應箱根駅伝プロジェクトの公式サイトからご寄付頂けます。



「慶應 箱根」で検索
<https://hakone-pj.keio-tf.org/>



「プロジェクトを支援する」をクリック



寄付の口数を入力して
「寄付する」をクリック



クレジットカード
またはAmazon Payで
寄付完了

2. ラッフルへの景品のご提供

企業・団体・個人の皆様から、ラッフルの景品の無償でのご提供を募集しております。ご提供頂く景品は、慶應義塾や駅伝、陸上競技、スポーツとの関連性がないものでも、慶應箱根駅伝プロジェクトへの寄付者に喜んで頂けそうな物品であれば、何でも結構です。

例) スポーツグッズ、健康食品・サプリメント、その他食品・飲料、衣料品、日用品、文具・玩具、家電製品、各種チケット類（旅行券・宿泊券、食事券など）など

恐れ入りますが、食品・飲料等につきましては、衛生管理上の都合により、生もの・温度管理が必要なもの、賞味期限が短いものなどはご遠慮ください。

景品のご提供をご検討頂ける場合には、以下の慶應箱根駅伝プロジェクト事務局のメールアドレスにご連絡ください。

hakone_raffle@keio-tf.org

3. スケジュール（予定）

強化資金ご寄付の受付期間： 2021年8月15日 ～ 2022年3月31日

ラッフル景品ご提供の受付期間： 2021年9月15日 ～ 2022年1月20日

当選発表時期： 2022年4月予定

景品発送時期： 2022年4月予定

4. その他

景品をご提供頂いた企業・団体・個人様につきましては、慶應箱根駅伝プロジェクト公式サイトでのラッフル特設ページにおいて、ご提供者名、ご提供物品の名称・紹介文を掲載させていただきます。

景品のご提供にあたり、当方への送料はご負担いただきますようお願い申し上げます（当方より当選者への送料は当方にて負担させていただきます）。

今年度のラッフル景品のご提供のご連絡は、2022年1月20日まで受付をいたします。